



2020年9月

カレンダーアウトルック

今月の外為マーケット動向

WesternUnion **WU**

Business
Solutions

USD

ジョー・マニンボ, カレンシーストラテジスト - 北米

9月イベント

1日 火曜日 ISM製造業景況指数

2日 水曜日 ADP雇用

3日 木曜日 貿易収支

4日 金曜日 非農業部門雇用者数

10日 木曜日 卸売物価指数

11日 金曜日 CPI

16日 水曜日 FOMC発表

30日 水曜日 第2四半期GDP
(確定値)

8月のレビュー

幅広いライバルに対し、米ドルは大幅に下落し2018年以來の安値を記録した。世界最大の経済規模を誇る米国で、COVID-19感染者数の増加が続いたことにより暗雲がたれこめ、米ドルは引き続き低調に推移した。実質米国債利回りの低下は、弱気のドル心理を後押しした。大西洋全域で感染率が上昇したことでユーロの高騰にブレーキがかかり、8月には同地域の回復に勢いを失った兆候が見られたことで、ドル売りは減速した。

- 米国の失業率は、7月に10.2%というパンデミック期の最低水準に低下したものの、依然として高水準にある。
- パンデミックの影響を受けた米国の経済成長率は、4-6月期に記録となるマイナス32.9%に落ち込んだ。
- 金は急騰し、ドル安の影響もあって2,000ドルを上回る史上最高値を記録した。

9月の見通し

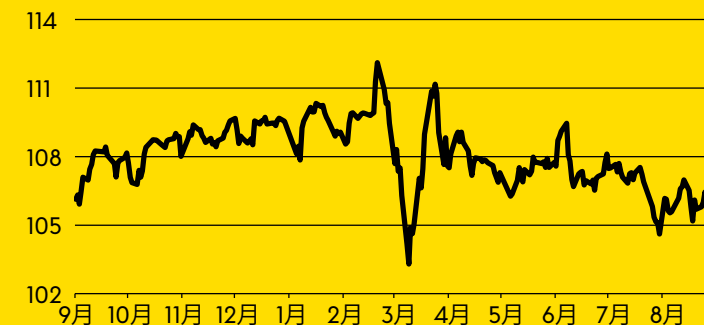
経済指標およびパンデミックの動向、通貨市場のポジショニングが、7-9月期終盤の米ドルの方向性に影響を与えそうだ。ドルのショートポジション、つまりその継続的な下落に賭けたポジションは、2011年以降で最も増加した。米ドル下落に対する賭けが集中していることから、安値を上回る水準ではショートスクイーズの好機である。

- 欧州がCOVID-19第2波の危機にさらされた場合、ドル相場は底を打つ可能性がある。
- 貿易加重ドル指数は3月のピークから10%下落。
- 年初来では、ドル指数は3%下落している。

経済データ

基準金利:	0-0.25%
GDP(年率):	-32.9%
インフレーション(年率):	0.9%
失業率:	10.2%
貿易収支:	507億ドル(赤字)

ドル/円(直近一年)



9月イベント

1日 火曜日	失業率
3日 木曜日	小売販売
10日 木曜日	ECB格付決定
13日 日曜日	EU-中国サミット (13-14 9月)
15日 火曜日	ドイツZEW指数
23日 水曜日	PMI調査 (速報値)
30日 水曜日	インフレーション (速報値)
30日 水曜日	C. Lagardeのスピーチ

8月のレビュー

ユーロは、リスクオンの市場環境において、引き続き米ドルに代わる魅力的な代替通貨となった。株式市場の上昇傾向と欧州全体のセンチメントの力強い回復に牽引され、ユーロに対する世界的な需要は勢いを維持した。ヨーロッパ全域におけるコロナウィルスの初期の兆しや、人々の高い活動レベルを示すデータに見られる回復ペースの鈍化にもかかわらず、欧州通貨は主要通貨に対して高値水準を維持した。欧州各国のパフォーマンスがアメリカやイギリスといった近隣諸国を上回り続けているため、世界的なリスクは軽減されているとみられる。

- 米国の先物市場におけるユーロのネットロング持ち高は、8月に過去最高に達した。
- ドイツの投資家信頼感指数は急上昇し、2004年以来の高水準に達した。
- ユーロは、対米ドル(1.1965ドル)と対円(126.7円)でそれぞれ2年ぶり、1年ぶりの高値に上昇。

9月の見通し

ユーロ/スイスフランの為替レートが安定していることは、今秋に欧州でコロナウィルス感染の第2波が発生するリスクについて、市場関係者の間で若干の懸念が存在することを示唆している。8月に件数が大幅上昇し、政治関係者による迅速な規制強化への動きがみられたことから、この脅威は本物である。ロックダウン期間後の欧州経済の力強いリバウンドを背景に、ユーロが多くの通貨を上回ってきたことを考えると、センチメントが反転すれば下方修正される可能性がある。

- 第2波があった場合に欧州で規制が強化されれば、回復のモメンタムに対する明確な足かせとなりうる。この場合、V字型の回復シナリオが成立しない可能性がある。
- 今夏、欧州中央銀行が示した「待機と静観」の姿勢は、新たなリスクが視野に入ってくると、難しいものになるかもしれない。
- ユーロは好調な夏の後、すでに短期的な上限に達しているのだろうか。欧州の見通しに対する市場の信頼感が悪化すれば、下方に再格付けされる可能性は非常に高い。

経済データ

基準金利:	0.0%
GDP (年率):	-1.5%
インフレーション (年率):	0.4%
失業率:	7.8%
貿易収支:	212億ユーロ

ユーロ/円 (直近一年)



9月イベント

1日 火曜日
Caixin製造業購買担当者景気指数

3日 木曜日
Caixinサービス部門購買担当者景気指数 (PMI)

7日 月曜日
貿易収支

9日 水曜日
消費者物価指数 (CPI)

15日 火曜日
鉱工業生産

8月のレビュー

最近の上昇基調を継続し、8月の中国元は一段と力強かった。

中国政府がCOVID-19の再拡大を封じ込めたとみられ、また貿易水準と工業生産が危機以前の水準に近付いたため、人民元は救われた。

人民元は米ドルに対して1月の高値水準まで上昇した。

人民元は他のほとんどの通貨よりも強く、3月以降、人民元バスケットは最も優秀だった。

- より良い経済指標は、地域成長の改善を示唆している。主要なベンチマークである鉱工業生産は7月に4.8%と報告され、2019年の平均である5.5%に近づいた。

9月の見通し

人民元は、その成長と貿易水準の改善によって支えられてきた。

中国人民銀行が2020年前半に貸出プライムレートを2回引き下げた後、金利は概ね安定している。

8月の米中貿易交渉は、両国が1月に署名された貿易協定の「フェーズ1」の6カ月レビューに参加するなど、概ねポジティブであった。

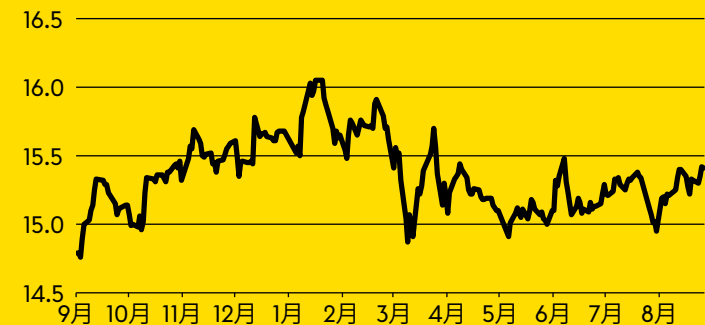
しかし、今回の大統領選挙は、米中関係をめぐる地政学的な問題が依然として注視されることを意味する。

- 経済面では、貿易と国内生産に焦点が当てられ、9月7日に貿易収支、9月15日に鉱工業生産が発表される。
- テクニカルには、人民元はこのところ大幅に躍進しており、いわゆる「ゴールデンクロス」を達成している。

経済データ

基準金利:	3.85%
GDP (年率):	3.2%
インフレーション:	2.7%
失業率:	3.8%
貿易収支:	623億ドル

人民元/円 (直近一年)



Don't let the currency market detract from your bottom line.

WesternUnion 

Business
Solutions

©2020 Western Union Holdings Inc. All rights reserved.

ウエスタンユニオン・ビジネス・ソリューションズは、ザ・ウエスタン・ユニオン・カンパニーの事業部門です。ウエスタンユニオン・ビジネス・ソリューションズ・ジャパン株式会社(「WUBSKK」)を通じて日本で事業を展開しています。

Western Union Business Solutions (Australia) Pty Limited(以下「WUBSA」)は、楽天銀行に対しWUBSKKが提供するサポートサービスを提供しております。WUBSA & WUBSKKを合わせて「WUBS」といいます。

楽天銀行は、顧客に対してWUBS同等の外国為替および決済サービスを提供することができます(ただし楽天銀行のサービスを利用した場合も当該顧客がWUBSの顧客とはなりません)。本資料カレンダーアウトルックは受領者の一般的な情報収集目的のためにのみ作成されたものであり、WUBSに対するいかなる責任も拘束力も持たないことを確認し、同意することを前提に、本資料を本契約に記載される情報に対する真のビジネスニーズを有する可能性のある顧客と共有することを楽天銀行に許可したものです。情報は十分に注意して作成されていますが、WUBSはその正確性を保証しているものではありません。楽天銀行の顧客は、本資料に記載されている情報を取扱う前に、独自に確認をしてください。WUBSと楽天銀行との関係は、契約に準拠しています。WUBSと楽天銀行の顧客との間には契約関係はありません。 556903668-2020-08